

<参考資料> 予知保全とは

～対応が必要となる前の段階で進行を予測して対策～

● 予知保全とは

保全対象施設の損傷、不具合、機能の低下や喪失を、**当社がこれまで蓄積してきた点検データとノウハウを活用して分析することにより予知※し**、対応が必要となる前の**適切な時期**に**対策**を行う**予防保全**の方法

※各種システムにて施設ごとの点検結果や補修・障害履歴を管理することにより、施設の劣化状況を分析し最適な時期での補修・更新等を実施することが出来る。

(参考)

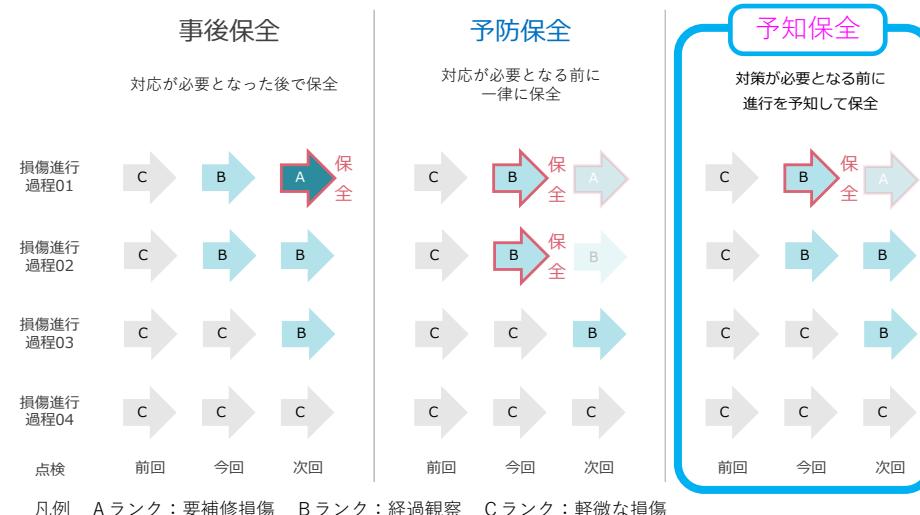
【JISでの定義(予知保全)】

設備の劣化傾向を設備診断技術などによって管理し、故障に至る前の最適な時期に最善の対策を行う予防保全の方法

【JISにおける保全体系】



◆ 予知保全の模式図【土木】



◆ 予知保全の模式図【設備】

